

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	スポーツ・レクリエーション活動支援事業			事業番号	12-102
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	保健福祉部健康づくり担当	高橋 健一	スポーツ課	細野 徹	

計 画 (Plan)					
総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	3	人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり	
		施策展開の方向	6	いつまでも学び生きがいがあるまちをつくる	
		施策	12	誰もが親しめるスポーツ活動の推進	
予算事業名	スポーツ・レクリエーション活動推進事業費/総合体育大会開催費 スポーツ広場維持管理費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務	<input type="radio"/> 法定受託事務	(選択してください)→	法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	—
関連法令等	スポーツ基本法				
国・県の計画等	スポーツ基本計画			計画期間	平成24年度～令和3年度
関連個別計画	伊勢原市第2期教育振興基本計画 伊勢原市市民生涯スポーツ推進基本計画			計画期間	平成30年度～令和4年度 平成25年度～令和4年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	少子高齢社会の進展に伴う健康づくりへの関心、ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機にスポーツに対する機運が高まる中、幅広い年代に向けたスポーツ活動の機会の提供や更なる市総合体育大会等の競技スポーツに関する参加機会の要望が高まっております。				
目的 (何をどうしたいのか)	市民やスポーツ関係団体との協働により、幅広い年代に向けた各種競技大会・講習会等の充実を図るとともに、スポーツ広場等の施設の維持管理や整備、地域に根ざしたスポーツ指導者等の養成に取り組み、生涯を通じてスポーツに親しめる環境を整えます。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民や各種スポーツ関係団体				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・競技人口の拡大や指導者の育成に向けた取組を継続するため、スポーツ関係団体と連携し、スポーツ競技大会やスポーツ教室、指導者養成講座を実施します。 ・市民誰もがスポーツに親しめる環境づくりのため、ニーズや関係者の意見等を基に検討し、高架下多目的スポーツ広場の整備に向けた設計等を実施します。 				
事業行程	項目	年度			
		令和3年度	令和4年度		
	市選手権・市総合体育大会(シニア部門含む)・ビームライフル講習会	実施	実施		
	スポーツ広場の充実	利用促進 高架下多目的スポーツ広場設計条件等整理	利用促進 高架下多目的スポーツ広場実施設計		
スポーツ団体との連携・協働	スポーツ指導者養成講座の開催	スポーツ指導者養成講座の開催			
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			令和3年度	令和4年度	
	競技スポーツ大会、講習会の参加者数	1,274人 (令和2年度)	7,990人	8,310人	



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	3密の回避や健康管理など徹底した感染症対策を施しながらスポーツ競技大会、指導者養成講座及びスポーツ教室を継続実施するとともに、新たなスポーツ広場の設置に向けた十分な検討を進め、市民誰もが生涯にわたりスポーツに親しめる環境づくりを推進してまいります。		
実施方法 〔選択・記入〕	○ すべて直接実施 ● 左記以外		
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者 伊勢原市スポーツ協会(市選手権大会)
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		令和3年度	令和4年度
	市選手権・市総合体育大会(シニア部門含む)・ビームライフル講習会	一部実施	
	スポーツ広場の充実	利用促進 高架下多目的スポーツ広場 設計条件等の調整・検討	
スポーツ団体との連携・協働	スポーツ指導者養成講座の開催		
実施した取組の内容	新型コロナウイルスの影響により、各種競技大会や講習会の一部が中止となったが感染症対策を施した中で、競技人口の拡充や人材育成の推進に努めました。また、スポーツ広場の整備や利用促進、新たな広場設置に向けた設計条件の整理等について関係課と調整、検討しました。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度
	競技スポーツ大会、講習会の参加者数	1,274人 (令和2年度)	令和3年度 3,897人 令和4年度

コスト	年度	令和3年度 実績				令和4年度 実績				
	事業費合計(a)		6,857	千円					千円	
	内訳	国県支出金 ①	0	千円					千円	
		地方債 ②	0	千円					千円	
		その他特財 ③	24	千円					千円	
		一般財源 (a)-①-②-③	6,833	千円					0 千円	
	国県支出金の内容									
	その他特財の内容	受益者負担	● 有 ○ 無		前回の改定時期	令和元年7月1日				
		その他	上満寺多目的スポーツ広場使用料等から充当							
	人件費	正規職員	0.32	人	2,618	千円		人	千円	
		その他の職員	0	人	0	千円		人	千円	
		人件費合計(b)	0.32	人	2,618	千円		人	千円	
	トータルコスト(a)+(b)		9,475	千円					0 千円	
	単位当たりコスト	対象数	定義	競技大会、講習会等参加者数		単位			単位	
			対象数	3,897	人					
総事業費／対象数		2,431	円					円		

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	新型コロナウイルスの影響により市選手権大会及び市総合体育大会は、一部の競技のみの実施となりました。スポーツ指導者養成講座は計画どおり実施し、競技スポーツ大会への参加機会の提供と指導者等の育成を図りました。また、スポーツ広場の整備や利用促進、新たな広場設置に向けた設計条件の整理等について関係課と調整や検討を行いました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	スポーツ競技大会や指導者養成講習会等は、各市とも開催され、競技スポーツへの参加の機会提供等を行っておりますので同水準で実施していると考えます。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	東京2020オリンピック・パラリンピック等の開催により、スポーツへの期待や関心が高まる中、各種関係団体による自主的な競技大会や指導者養成講座が実施されることで、競技スポーツの機会提供と運動・スポーツへの機運醸成が図れています。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	伊勢原市スポーツ協会所属の各競技団体やスポーツ少年団との連携・協働により、大会や講座が行われ、効率的に事業実施できています。


 取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	<p>少子高齢化の進展により、特にシニア世代のスポーツ競技の参加を促す工夫が必要と考えます。また、高架下多目的スポーツ広場の新設については、現状や今後のニーズ、利用関係者等の幅広い意見を基に十分な検討が必要と考えます。</p>
令和4年度の取組方針		<p>3密の回避や健康管理など徹底した感染症対策を施しながらスポーツ競技大会、指導者養成講座及びスポーツ教室を継続実施するとともに、新たなスポーツ広場の設置に向け、今後の周辺土地利用状況等を把握し、市民誰もが生涯にわたりスポーツに親しめる環境づくりを推進してまいります。</p>		
所管部長による総評		<p>市民のスポーツへの関心が高まっており、スポーツ競技大会の重要性はより増している一方で、コロナ禍での大会等の運営方法も課題となっておりますが、スポーツ協会やスポーツ少年団などの関係団体と連携し、安全で安心な競技大会の実施が必須と考えています。また、スポーツ施設の整備は、ニーズや関係者の意見を基に、他のスポーツ広場との機能集約なども踏まえ、視野を広げた検討を進めたいと考えています。</p>		